

私とHH

環境文明研究所
代表取締役所長
加藤 三郎



私は昭和四十一年厚生省（公害課）に入省し、大気汚染問題を中心に公害対策の行政に加わった。以来、昭和四十六年に環境庁が新設される（そこに移り、また若い時の三年間、外務省に出向し、環境外交というも

二〇〇八年十一月九日 明日の地球を考えよう！丸の内で”わ”の気づき平成大茶会in丸の内」を企画、開催いたしました。

このイベントは四百年前に豊臣秀吉が北野天満宮で催した「北野大茶会」の果たした役割から、平成の世に生きる我々は社会へのメッセージとして何を伝え何が出来るとか、と



平成大茶会 in
丸の内を終えて

茶道家 椿 邦司

このイベントは四百年前に豊臣秀吉が北野天満宮で催した「北野大茶会」の果たした役割から、平成の世に生きる我々は社会へのメッセージとして何を伝え何が出来なのか、という問いから始まりました。

それは日本の伝統文化である茶道を通して「環境」の大切さ、この地球を照つ「心」の大切さを伝えることなのではないかとの結論に至り、この企画を進めました。



と考えるようになった。

役所を離れて、この問題を自由な立場で徹底的に勉強してみたいと思ひ立ち、鈴木猛さんや古谷野代さん、藤村コノエさんと一緒に「環境文明研究所」をつくり、その二ヶ月後に、今のNPOを立ち上げた。

なぜ役人を辞めたかといよく聞かれるが、役所にいると様々な制約があり、自由に発想出来たとしても、それを自由に発言したり行動したりすることが出来ない。

そこで発想の自由、発言の自由、行動の自由を求めて、NPOという立場を選んだ。

以来、十六年になるが、幸いにして、多くの人に支えられ、当初の思

（へ）を楽しんでいただきました。

さらに東京商工会議所のエコ検定事業と連携して、各茶席を廻りながら、地球環境の大切さを身近な問題としてとらえていただくよう、フリ―形式のエコクイズを取り入れ、茶道になじみのないご家族連れなどにもお気軽に参加いただけるようにしました。

茶の湯の世界でよく使われる言葉に、「市中の山居」という言葉があります。都市に住まいながらも、山里（自然）を感じられるような環境のなかで、心静かな時間を過ごすことが人間の生活には大切であるという意

虫の踊る声

筑波大学名誉教授 草野 忠治

時宗の寺院が多く建てられている。さらに、逗留された所で、靈宝の開帳があり、その中に実盛の太刀、甲、馬具の展示と説明もあり、源平の戦で討死にした実盛の怨霊が害虫となつて水田で大発生し、大被害を与えた話を、多くの来訪者（農民武士達）に傳へ語りたし推測される。それで、稻の登熟期に実盛の霊を供養し、災害を避けることを祈願する祭として、太鼓踊が行われたらしい。



昨年の秋に市来串木野市大里の虫
追ひ踊を見学した。

エネルギ一の消費と浪費で便利になりすぎた我々の生活は、いま見直さなければならぬ岐路に来ております。



長崎大学名誉教授 和田 義人

その中の一
つに静止して
いるゴヤダラ
カミキリの写
真があり、天
牛(カミキリム
シ)。牛に似て
いるとはとて
も思えません。」と書き添えられていた
ゴヤダラカミキリの身体は細長く
触覚は頭から後方に身体の側方に沿
って伸ばされている。これでは確か
に牛とは言えない。



以下は私の勝手な推論である。天の牛だから飛翔している姿と関係があるに違いない。私が見た飛んでいるカキリムシの様子を思い出しながら述べれば次のようになる。前身体は頭を上斜めに位置する。羽と後羽はほぼ真横に広げている。そして特徴的なのが触角である。二本の触角はまず斜めに高く持ち上げられ、ほぼ三分の一の辺りで今度

現代社会において我々は伝統文化
 Ⅱ 和の心を再認識し、茶道にも通ず
 る環境意識の高い人々（グリーンコン
 シエーヤ）的なライフスタイルが求
 められているのではないだろうか。

天牛のいふなり

写真のように、矢旗へ美盛靈など
の依代を負い、太鼓を胸に抱え、鉢
巻をした踊子はそれを叩き、浴衣あ
るいは袴を身に付けて花笠を被り、
平鉦を叩く踊子は歌と音に合せて、
輪となつて片足を交互に上下させて
水田地帯の数カ所で踊り、その中に
美盛像の二カ所の跡地もあった。

長崎大学名誉教授 和田 義人

す

५८८८८

野中健一著
亜紀書房
一六八〇円



立教大学教授の著者は、生態人類学・民族生物学の観点から、昆虫とはもちろん世界各処を巡り、人間と昆虫とのかわりあを研究している。最近の日本では蜂の子ザブリが人気だが、それ以外にもイナゴ、カミキリムシ、ゲンゴロウ、ザザムシ、タガメアリなどの身近な昆虫が食されてきた。さらに南部アフリカやオース、ベトナムといった東南アジアでは、単にタングバク質の楽しさ、工夫も含めた地域の食文化として昆虫食が確立していることを丹念に調査し、そのありのままを本書ではいきいきと紹介している。

虫は苦手という方にはちよとハードな部分もあるが、美容のためなら蜂の子を食すこともできる。エビ、カニ、ウニ、ホタテ、いすれも最初に口にしたら人がいたからこそ、今日のグリームがあるのです。嫌いだからイカモノ食いといつてけるのは勝手だが、それで人間食に貢献する虫の立場が哀相。一寸の虫にも五分の魂です。

は斜め下方に折り曲がり、ゆるやかに三角形が形成される。それは一本の牛の角に似ていなくもない。飛んでいるカミキリムシから頭に浮かぶのは、まさに牛の頭部の姿である。昔の中国の人は、そこから天牛と名付けたのではないだろうか。

虫には昔から日本古来の名前が付けられていた。そこに中国から漢字が渡来すると、日本での虫の名前に中国の文字が当てられるようになつた。

戦前の昆虫学の教科書や図鑑では虫の名前に必ずそのような漢字が付いていた。

蚊(カ)、虻(アブ)、蛭(エビ)、蜂(ハチ)、虱(シラミ)、などは比較的知られた漢字である。しかし、天牛などは和名がないとなかなか理解し難い。椿象が悪臭を出す不快害虫のカメムシであることも同様である。しかし、そのような漢名を覚えておく必要性は現在ではまったくなくなつてしまった。

●問題

減塩食 → 員 → 度 → 音 → 園 → 発 → 会 → 交

※三文字熟語のしりとりです。ただし、つながら
漢字は同音異字後です。下のヒントから選んで
入れて熟語を完成させてください。

※色の升の三文字で出来る熟語が答えです。

ヒント 今夜は何を食べようか

公計楽職堂軽法行室祭道湿学再

ヒント 今夜は何を食べようか

再行祭臨法野聖堂職業來計公

◆**応募規定** ハザキまたはフアクジミリで、答え、住所、氏名、当社との関係を明記の上、ご応募ください。

〒105-0014 東京都港区芝2の23の4
アペックス産業㈱内 APEX CLUB宛
フアクシミリ番号 03-3455-6558

締切りは平成21年8月10日(月)(当日消印有効)
正解者の中から抽選で若干名様に記念品を差し上げます。

★前号の正解と当選者(順不同)
正解は『花鳥風月』でした。

当選者：荒畑みどり、川元美貴子の2名様です。今回は問題を解きながら肝心の答えをきちんと書いてない方が多く、正解者は2名様のみでした。